

平成28年度

事業報告及び収支決算

自 平成28年4月 1日

至 平成29年3月31日

公益財団法人京都市健康づくり協会

平成 28 年度 事業報告

平成 28 年度は、京都市健康づくり協会が公益財団法人へ移行して 4 年目、かつ、国の「健康日本 21 第二次改正」の 4 年次でもあり、当協会の健康寿命延伸等健康増進の取組も公益財団として定着するとともに、市民の期待がますます高まる年度となりました。

また、当協会のこれまでの運営実績や組織内連携、施設運営体制や経営管理計画等が高く評価され、高得点で選定された平成 28 年度を初年度とする第三次京都市健康増進センター指定管理者（5 年間）としての初年度でもありました。

国内においては、我が国が地震国であることを再認識させられる熊本地震の発生（4 月）、京都鉄道博物館のオープンや訪日外国人 2 千万人突破等観光客数の増加、小池都知事誕生と豊洲市場移転延期や五輪施設計画の見直し等劇場型と言われる一連の取組、あるいは 18 歳選挙権施行による初めての参議院選挙（連立与党の 2/3 超の躍進）が実施され、国際的には、リオデジャネイロオリンピックでの史上最多 41 個のメダル取得、そして平成 29 年 1 月には米国第一主義を唱える共和党トランプ大統領の就任と直後の TPP 離脱宣言やまたその先行き不透明感による市場の下落、はたまた年度末最後の 3 月 31 日には朴韓国前大統領が逮捕されるという、内外にわたりまさに目まぐるしく、驚くような出来事等がありました。

また、平成 28 年 9 月の総務省統計局の発表によりますと、高齢者人口の数は、前年を更に約 77 万人上回り、3,461 万人で全体の 27.3%（H27；26.7%）と過去最高となっており、団塊世代が後期高齢者に達する 2025 年には高齢者人口は 3,500 万人で全人口の約 30%に達することが見込まれます。

そんな中で、いわゆる 2025 年問題が一層重要な課題として浮上し、世界でも有数の借金国である我が国の更なる介護、医療費等社会保障費の急増が懸念され、超高齢社会、健康寿命の延伸等に向けた国や基礎的地方公共団体、更には当協会等健康推進関連団体の果たす役割はますます大きなものとなっています。

当協会の設立者であります京都市では、市民の健康寿命を平均寿命に近づけ、活力ある地域社会「健康長寿のまち・京都」を実現するため平成 28 年 5 月に「健康長寿のまち・京都市民会議」を発足させ、市民全体で健康づくりの機運を高め、すべての市民が参加する運動に広げるための取組を進めています。

当協会は、積極的にこの市民会議に参画し、オール京都の取組として推進される市民ぐるみの健康づくり運動の一翼を担うとともに、一層自律的な経営を進めるため、引き続き（公財）京都市都市緑化協会との連携による梅小路公園を拠点とした健康づくり事業や老人クラブ連合会との連携による「半日体験」事業等自主事業の充実強化を図ってまいりました。

とりわけ、中高年齢者の健康保持増進事業についてはより一層留意し、協会の使命であります市民の健康と福祉の向上に努め、高品質で満足度の高い市民サービスの提供が行えるよう平成 28 年度事業計画に基づき積極的な事業推進に取り組みました。

お蔭様で、平成 28 年度は施設利用者数も前年に比して 11,000 人超増やすことが出来、それに見合った施設利用収入等の増を得るとともに、人件費や事業費の削減を図り、光熱水費の減等と相まって、前年度に比し正味財産約 340 万円の増を図ることができました。

主な事業等は以下のとおりです。

I 役員会等の開催

理事会

★定例理事会	
開催日	平成 28 年 5 月 17 日
審議事項等	① 平成 27 年度事業報告及び収支決算について ② 定時評議員会の日時及び場所並びに目的事項について ③ 平成 27 年度資金運用の執行状況についての報告
★臨時理事会	
開催日	平成 28 年 6 月 17 日（決議の省略）
審議事項等	① 理事長及び常務理事の互選
★定例理事会	
開催日	平成 29 年 3 月 21 日
審議事項等	① 平成 29 年度事業計画及び収支予算について ② 平成 29 年度資金運用計画の執行方針及び計画について ③ 臨時評議員会の開催及び目的事項について ④ 平成 28 年度資金運用の執行状況についての報告

評議員会

★臨時評議員会	
開催日	平成 28 年 4 月 30 日（決議の省略）
審議事項等	① 評議員の辞任に伴う補欠選任について ② 理事の辞任に伴う補欠選任について
★定時評議員会	
開催日	平成 28 年 6 月 17 日
審議事項等	① 平成 27 年度事業報告及び収支決算について ② 役員の選任について ③ 評議員の補欠選任について ④ 平成 27 年度資金運用執行状況及び平成 28 年度資金運用方針について

II 平成28年度の主な事業

1 中高年齢者に対する健康保持増進事業

(1) 介護予防事業の推進

- 生活機能維持向上
- 自立，社会参加能力の低下予防

生活機能の維持向上により，一人でも多くの市民が要支援，要介護状態に陥ることのないよう健康増進，発病予防の取組や生活機能低下の早期発見，早期対応にむけた以下の取組を行いました。

なお，実施に当たっては，運動指導，栄養指導に係る各専門スタッフが，平成15年度に作成された「京から始めるいきいき筋力トレーニング」（京都市オリジナル）プログラムや平成17年度に他都市に先駆けて導入した「油圧式筋力トレーニングマシン」を用いる運動プログラム，そして平成25年度に作成した「ロコモ いつでも どこでも 京ロコステップ+10」を適切に活用するよう留意しました。

① 減塩，糖尿病予防，貯筋，栄養満点教室（高齢者栄養相談）

京都市のシニア栄養相談実施要綱に基づき，低栄養状態や糖尿病，高血圧やロコモティブシンドロームを予防するため，医師，保健師及び管理栄養士による講話や健康運動指導士による運動指導，更には調理実習等を行い，食習慣や生活習慣の改善を図りました。

実施に際しては，特に「食べる楽しみ」を考慮し，「しっかり食べて元気はつらつ！」をテーマとした栄養指導，簡単クッキングの実践等も行いました。

また，それぞれの教室の目的に合わせ，尿中塩分濃度測定（減塩），食前食後の血糖値測定（糖尿病予防），体力測定（貯筋）及び体組成測定（栄養満点）などで一人一人の身体の状態をチェックし，より適切なアドバイスをを行いました。

◆参加人数 延べ249人

② 口腔ケア&栄養教室

京都市のすこやか栄養教室実施要綱に基づき，65歳以上の人を対象に，摂食・嚥下・咀嚼機能の低下を予防するため，歯科衛生士による口腔ケアの指導，管理栄養士による栄養指導や調理実習を実施し，「食べる楽しみ」を味わっていただきながら適切な栄養状態が確保されるよう努めました。

また，舌ブラシや歯ブラシの使用，口腔機能チェック，口腔体操等の実技指導を増やす等口腔ケアにも重点を置きました。

◆参加人数 延べ78人

③ いきいきシニアの食事バランス教室

京都市のスマイル栄養塾実施要綱に基づき，65歳以上の方を対象として，生活習慣病の重症化を予防するため，医師の講話，管理栄養士及び健康運動指導士による栄

養と運動の指導等を行い、食生活の改善及び体力低下の防止を図りました。

なお、平成 28 年度も活動量計を貸与し、実際の消費カロリー、活動カロリーを数値化することにより、受講生のモチベーションの維持・増大に留意しながら行いました。

◆参加人数 延べ 437 人

④ シニア体力向上教室（自主事業）

生活機能の低下の恐れがある人やその他の一般高齢者を対象に、それぞれの健康度に応じて安全に、かつ、長く続けられる筋力トレーニングを中心とした教室を平成 26、27 年度に引き続き実施しました。

実施に当たっては、医師による健康チェック等を踏まえ、油圧式筋力トレーニングマシン等を活用したプログラム等を設定し、それぞれの生活機能の向上が自らの力で行えるよう留意しました。また、随時、体力測定や体組成測定等を行い、運動効果を確認するとともに、水中運動等も取り入れ、長く続けられるよう留意しました。

◆参加人数 延べ 255 人

⑤ ロコモステップ教室（自主事業）

歩行に不安を感じる人や一般高齢者を対象に、自立して元気に生活を送るための歩行能力やバランス能力を高める運動を中心とした教室を、平成 26、27 年度に引き続き実施しました。

教室では、医師による健康チェックとともに、体力測定等で運動効果を確認しながら持続的な取組につながるよう留意しました。

◆参加人数 延べ 376 人

（2）中高年齢者の保健指導事業等の推進

- 生活習慣病の予防推進
- 疾病の早期発見，早期治療

特定健康診査，特定保健指導の実施

一人でも多くの中高年齢者が自らの健康状況を正しく把握し、自らの生活習慣を振り返る絶好の機会と位置付けていただけるよう当協会での特定健診の受診を勧めました。また、必要な人には生活習慣の行動変容につながる特定保健指導を行うとともに上記（1）に掲げる介護予防事業や各種教室への参加も勧め、併せて生活機能の向上が図れるように努めました。

◆ 特定健診 260 件，特定保健指導 13 件

◆ 京都市の紹介による特定保健指導 33 件

(3) 中高年齢者の健康増進事業の推進

- 健康保持増進に係る意識の向上<きっかけづくり>
- 自らの健康度の把握, 自らの健康保持増進プログラム等の策定支援
- 持続する健康保持増進の取組支援

① 生活プログラムの作成・指導及び運動実践による健康づくり指導

自らの健康度に関心を示し、健康保持増進を自ら実施していく必要性を自覚している中高年齢者に対して、引き続きプール・トレーニングルーム等の施設利用を促し、併せて健康運動指導士等のスタッフによる必要な運動指導等により持続的な取組が行われるよう支援しました。

特に、地味で、単調化しやすいトレーニングの実践を如何に持続させるかに配慮し、3カ月単位の申込みにより持続的な取組を可能とした「ヘルスピア筋トレ教室」やその他「太極拳」「ヨガ」「健康カラオケ」「社交ダンス」等各種スポーツ・健康教室を毎月約70教室開講し、気の合う人との楽しい取組、仲間づくりも体験いただきました。

また、必要な人には健康度測定室の活用により血圧や心電図、更には運動負荷試験等の健康度の総合的な判定を実施し、その結果を踏まえてそれぞれに合った筋力トレーニングや有酸素性運動の実技指導を行いました。

(「平成28年度京都市健康増進センター利用実績 2 教室利用」参照)

◆ プール・トレーニングルーム利用者数	116,259人
	(うち40歳以上は約65%, 約75,568人)
◆ スポーツ・健康教室参加者数	10,800人
◆ ヘルスピアパス利用者数	1,103人

②中・高年齢者筋トレ事業の実施

ア 通所型

ヘルスピア21(油圧式マシン等を備えた中・高齢者筋力トレーニングルーム等)において、「京から始めるいきいき筋トレ」「ロコモいつでもどこでも京ロコステップ+10」を活用した中・高齢者向けの筋トレ教室事業を実施しました。平成28年度は、マシンを使用しないクラスを週に6教室、油圧式筋力トレーニングマシンを使用するクラスを週に2教室それぞれ開講しました。

◆ 参加者数	5,030人
--------	--------

イ 出張型

より身近に筋力トレーニングを体験し、その魅力や効果等を理解いただくための「きっかけ」づくりとして、健康運動指導士が直接地域の公民館等へ赴き、実技指導等を行う「出張型いきいき筋トレ教室」を行いました。

◆ 対象	65歳以上の高齢者を含む5人以上 ただし、下京区、南区及び伏見区(本所、深草支所管内)
◆ 費用	無償(京都市助成事業)

◆ 参加者数 1,025 人

③ いきいき長寿パス等の活用

当健康増進センターを利用する中高年齢者が、安心、かつ、持続して健康保持増進に取り組めるようそれぞれに合った魅力的な定期券の発行等を行い、健康増進の意識向上と取組の推進を図っています。

65 歳以上の高齢者には長寿パス等を設け、料金割引とともに運動を通じて自らの健康に対する理解を更に深められるよう適切な機会に個別相談等を行い、必要な人には、生活機能の向上、生活習慣病の予防につながる持続的な取組の支援を行っています。

また、健康増進の必要性を理解しながらも働き世代、子育て世代等でなかなか実践に移せない人、「健康と運動」についてじっくり考え、実践する機会をもつことが困難な人等 40 歳以上の中高年齢者に対しては、夜間割引定期券（ナイトパス等）の活用等を促し、健康増進の魅力を体験いただくとともに、実践の中で、専門家による個別相談やカウンセリング等を通じて自らの健康度に応じた生活プログラムの構築につながるよう努めています。

◆長寿パス等の活用 2,227 人

◆夜間割引定期券の活用 1,491 人

④ 生活機能低下防止対策事業

京都市老人クラブ連合会等と連携し、「エンジョイエイジング」をテーマに京都市健康増進センターの魅力を知っていただき、今後、一人でも多くの方が、各自の健康度を把握し、自らに合った健康増進の取組を行うきっかけとなるよう食事、運動、休養に関する講話や体組成分析、体力測定を取り入れた「ヘルスピア 21 半日体験」事業その他を行いました。

実施日	内容等	参加者数
28.6.22	(公財) 全国老人クラブ連合会 近畿老人クラブ連絡協議会 パネルディスカッション参加	約 50 名
28.7.7	事業の概要の紹介 京都市老連事務局長会議	約 20 名
29.1.31	南区老人クラブ連合会 「半日体験」	23 名

⑤ その他

京都市健康増進センター内に、栄養に係るモデル献立の展示や健康啓発リーフレット等を配備し、健康と運動に係る自覚と知識の向上に役立つよう取り組みました。

(4) 健康度測定室（メディカルコーナー）の運営事業

○ 心電図，肺機能検査等の医学的検査等の実施による健康度測定等

○ 健康，栄養指導等健康増進取組支援

医師，看護師，管理栄養士，保健師等の医療スタッフにより，介護予防事業参加者等に対するアセスメント等の機会に個別面談や診察を行い，必要な者には血圧，心電図，肺機能検査や運動負荷試験等の各種医学的検査等を行い，それぞれが自らの健康度を正しく把握し，主体的に健康増進への取組を行えるよう指導しました。

また，適切な栄養指導や治療が必要と認められたときには，これらの改善策を指導し必要な場合には生活プログラムの作成・指導を実施しました。

また，生活習慣病の原因となるメタボリックシンドロームの予防に重点を置いた特定健康診査及び特定保健指導等の取組も，医療保険者との連携を強化しながら，実施しました。

◆一般健康診断，予防接種等	831 件
◆特定健診，労規健診等	592 件
◆体力測定等	178 件

(5) 健康づくり関連団体等との連携協力，活動支援事業並びに調査研究及び普及啓発事業

① 健康づくり関連団体への講師の派遣及び研修生の受入れ等

ア 出張指導事業等

健康づくりに取り組む各種団体等と連携し，健康教室開催等のために講師を派遣し，また研修生や視察者を受け入れ，健康づくりの支援を行いました。

更に，ローカル放送局のラジオ番組に定例的に出演し，健康知識の普及啓発や当施設の宣伝等にも努めました。

◆実績

月 日	相手先等
4月 1日	醍醐老人福祉センター
4月 8日	醍醐老人福祉センター
4月27日	山科自主グループ「コスモスの会」
5月18日	山科自主グループ「コスモスの会」
6月 7日	西京保健センター洛西支所
6月 9日	堀川クリニック西陣健康会
6月14日	南保健センター
6月17日	左京保健センター
6月22日	(一社)京都市老人クラブ連合会
6月22日	山科自主グループ「コスモスの会」
6月25日	京都保健衛生専門学校
7月12日	京都市立北総合支援学校
7月27日	山科自主グループ「コスモスの会」

7月29日	伏見東支部校長会支部長
8月24日	山科自主グループ「コスモスの会」
9月 7日	南保健協議会連合会・南区役所
9月 9日	南保健協議会連合会・南区役所
9月 9日	左京保健センター
9月16日	左京保健センター
9月17日	南保健協議会連合会・南区役所
9月21日	山科自主グループ「コスモスの会」
9月 30日	伏見保健センター
10月14日	上京区老人クラブ連合会
10月19日	山科自主グループ「コスモスの会」
10月27日	西京保健センター
11月26日	京都いきいきフェスタ
11月27日	京都いきいきフェスタ
11月30日	山科自主グループ「コスモスの会」
12月14日	山科自主グループ「コスモスの会」
1月18日	山科自主グループ「コスモスの会」
2月 7日	平成28年度京都市民健康づくり推進会議
2月15日	山科自主グループ「コスモスの会」
3月15日	山科自主グループ「コスモスの会」
4月～3月 第3火曜日	KBS京都ラジオ「笑福亭晃瓶のほっかほかラジオ」定例出演

イ 体力測定出張事業の受託

西京極でのスポーツフェスティバルにおいて、健康運動指導士を派遣し、測定機器による体力測定や運動指導・相談等を行いました。

◆実績

月 日	相手先
11月 3日	市民スポーツフェスティバル

ウ 教育実習生受入れ

◆実績

6月 3日	京都光華女子大学看護学科実習生受入れ
-------	--------------------

② 高齢者筋力トレーニング普及推進ボランティア養成講座の開催実施等

地域での自主的な健康づくりのリーダーとなる「京都市いきいき筋トレ普及推進ボランティア」の養成については、平成 16 年度から継続実施しています。

当協会が行う 5 日間にわたる養成講座を受講修了した人を一元的に登録管理し、また、3 年ごとに登録更新を行っています。

登録更新には必要な講義受講や実践等を条件とし、かつ、活動経験の交流等を通じ、さらなる知識の向上とやる気の高揚につながるよう工夫しています。

平成 28 年度末での登録者は 454 人を数え、それぞれの条件等にあった筋トレ普及推進活動を通じて各地域での居場所づくり、コミュニティづくりの核となるべく奮闘され、地域コミュニティの活性化や健全な発展に寄与されています。

なお、養成講座修了者のうち、400 人近い人が、転居や高齢で亡くなる等事実上活動継続が困難となる等により更新されていません。新たな後継者の育成等にそれぞれの地域等で奮闘されています。

◆養成人員

平成 28 年度 60 人

年度	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
人数	59	61	119	100	107	95	70	53	58	41	59	58	60

合計 940 人

◆活動実績

平成 28 年度

活動回数 5,667 回 (H16 からの延べ回数 37,894 回)

活動参加者数 139,245 人 (H16 からの延べ人数 852,680 人)

◆いきいき筋トレボランティア活動報告会の開催

場所 キャンパスプラザ京都

開催日 平成 29 年 3 月 9 日

参加者数 187 人

③ 下京区歩歩（ぼっぼ）塾の運営参加

平成 23 年度スタートの下京区基本計画に基づき、「みんなで楽しく歩いて健康になる」ことを目指した取組「下京区歩歩（ぼっぼ）塾」の運営に参画しています。

当協会は、毎月開催される塾での運動処方や健康に関する相談、ミニ講座での運動実践指導、ニュースレターの発行、そして IT 歩数計の管理等を実施しました。

◆塾生数 59～72 人

◆各回の塾参加者数 45～60 人

④ 健康づくりに関する調査、研究及び情報の提供

「京から始めるいきいき筋力トレーニング」についての情報や、ヘルスピア 21 の活動についてインターネットホームページや健康情報誌を通じて情報の提供に努めました。

また、市民の総合的な健康づくりと健康の保持増進のための安全で効果的な健康づくりの方法等について調査、研究を行い、その成果を、健康指導の実践に反映させています。

◆ホームページアクセス件数

平成 28 年度	79,240 件
平成 27 年度	79,490 件
平成 26 年度	75,230 件

2 青少年等の健全な身体の増進事業

○ ストリートダンスや少林寺流拳法等各種スタジオ教室や水泳教室の開催等

生活習慣は、乳幼児から日々の生活の中で形成されるもので、ライフステージごとに特徴があり、一人一人が生活習慣を意識し、常に見直し改善が行えるよう支援することが求められますが、40 歳未満の青少年に対しても健全なスポーツ、運動（当センターのトレーニング機器やプールの活用、エアロビクス、ストリートダンス等の各種教室への参加）により青少年等の健全な身体の育成と豊かな情操教育の推進を支援しました。

また、海外からみえた外国人で、筋力トレーニング等を滞在中も引き続き実施希望する人にも、その機会を提供できるよう主なホテル等との協議を行いました。

◆ プール・トレーニングルーム利用者数 40,691 人

（うち全利用者数 116,259 人のうち 40 歳未満は約 35%）

3 京都市健康増進センターの管理運営

○ 平成 28 年度から平成 32 年度まで、指定管理者として選定

○ 最も効率的な方法による、高品質で満足度の高い市民サービスの提供

健康増進センターの運営については指定管理者制度が導入されており、当協会は、平成 18 年度から平成 22 年度までの第一次、平成 23 年度から平成 27 年度までの第二次に続き、平成 28 年度から平成 32 年度までの 5 年間、京都市から指定管理者に指定されています。

これまでに培ってきたノウハウ、実績を生かし、＜一層の公平性、透明性、客観性の向上＞を図る観点から、最も効率的な方法で、高品質で満足度の高い市民サービスの提供に努めています。

◆ 京都市健康増進センターの概要

- 設置目的 市民の健康の保持・増進を推進し、「自分の健康は自分で守る」という機運をさらに高め、市民の誰もが自己の年齢、体力に応じて、より安全に、より効果的に健康づくりを行える拠点施設として設置

○住 所 〒601-8441 京都市南区西九条南田町 1-2

TEL 075-662-1300

FAX 075-662-2055

○敷地面積 約4,360平方メートル

○建設規模 鉄筋コンクリート造 地上4階地下1階

延床面積約10,600平方メートル（南保健センター，地下駐車場を含む。）

○運営内容

〈運動設備〉

・営業時間 火曜日～土曜日 9:30～21:00
日曜日・祝日 9:30～17:00

・休業日 月曜日（7，8月は営業），6月第4火曜日～木曜日，年末年始

〈健康度測定室〉

・営業時間 火・木・土曜日 9:00～12:00
第二土曜日 14:00～16:00

・休業日 祝日，6月第4火曜日～木曜日，年末年始

〈駐車場〉

・営業時間 火曜日～土曜日 8:00～21:15
日曜日，月曜日，祝日 8:00～17:15

・休業日 月曜日が祝日のとき（ただし，7月，8月は営業）
年末年始

・駐車料金 30分ごとに 100円
1日最大料金 700円

III 庶務事項

1 役員等の辞任

ア 理事	平成28年4月30日	平塚 靖規，	板垣 泰子
イ 評議員	平成28年4月30日	葉山 義則，	初田 英人
		塚本 宏，	福林 文孝
		東村 昌樹	
	平成28年6月17日	鈴木 哲法	

2 役員等の補欠選任

ア 理事	平成28年4月30日	安岡 良介	
イ 評議員	平成28年4月30日	岸本 知弘，	松田 晋
		鈴木 哲法，	瀬川 彰
		内山 修	
	平成28年6月17日	宮部 真典	

3 役員の任期満了に伴う新役員の選任及び理事長等の互選

平成 28 年 6 月 17 日開催の評議員会にて、任期満了の全役員のうち、辞任した轟英彦を除く 10 名の理事と 2 名の監事全員が再任され、また新たに河本勲則が理事として選任された。

引き続き、同日の臨時理事会（書面による決議）にて、理事長及び常務理事を互選により選定した。

理事長	田中 叡峰
常務理事	辻本 成秀

平成28年度 京都市健康増進センター利用実績

1. 運動施設利用

	4 月			5 月			6 月		
	人数	日数	1日平均	人数	日数	1日平均	人数	日数	1日平均
プール・トレーニングルーム	49	26	1.9	89	26	3.4	83	23	3.6
プール (15歳以上)	1,484	26	57.1	1,699	26	65.3	1,749	23	76.0
プール (15歳未満)	139	26	5.3	174	26	6.7	213	23	9.3
プ ー ル 計	1,623	26	62.4	1,873	26	72.0	1,962	23	85.3
トレーニングルーム	2,474	26	95.2	2,540	26	97.7	2,422	23	105.3
定期券	4,562	26	175.5	4,830	26	185.8	4,683	23	203.6
ヘルスパイパス	80	26	3.1	86	26	3.3	89	23	3.9
合 計	8,788	26	338.0	9,418	26	362.2	9,239	23	401.7
	7 月			8 月			9 月		
	人数	日数	1日平均	人数	日数	1日平均	人数	日数	1日平均
プール・トレーニングルーム	146	31	4.7	162	31	5.2	108	26	4.2
プール (15歳以上)	2,628	31	84.8	2,683	31	86.5	1,840	26	70.8
プール (15歳未満)	643	31	20.7	472	31	15.2	165	26	6.3
プ ー ル 計	3,271	31	105.5	3,155	31	101.8	2,005	26	77.1
トレーニングルーム	3,051	31	98.4	3,011	31	97.1	2,630	26	101.2
定期券	5,965	31	192.4	6,153	31	198.5	5,008	26	192.6
ヘルスパイパス	107	31	3.5	103	31	3.3	89	26	3.4
合 計	12,540	31	404.5	12,584	31	405.9	9,840	26	378.5
	10 月			11 月			12 月		
	人数	日数	1日平均	人数	日数	1日平均	人数	日数	1日平均
プール・トレーニングルーム	66	26	2.5	58	26	2.2	80	23	3.5
プール (15歳以上)	1,634	26	62.8	1,434	26	55.2	1,275	23	55.4
プール (15歳未満)	76	26	2.9	72	26	2.8	54	23	2.3
プ ー ル 計	1,710	26	65.8	1,506	26	57.9	1,329	23	57.8
トレーニングルーム	2,617	26	100.7	2,471	26	95.0	2,158	23	93.8
定期券	4,681	26	180.0	5,139	26	197.7	4,591	23	199.6
ヘルスパイパス	86	26	3.3	105	26	4.0	95	23	4.1
合 計	9,160	26	352.3	9,279	26	356.9	8,253	23	358.8
	1 月			2 月			3 月		
	人数	日数	1日平均	人数	日数	1日平均	人数	日数	1日平均
プール・トレーニングルーム	78	23	3.4	72	24	3.0	80	27	3.0
プール (15歳以上)	1,325	23	57.6	1,365	24	56.9	1,441	27	53.4
プール (15歳未満)	70	23	3.0	64	24	2.7	100	27	3.7
プ ー ル 計	1,395	23	60.7	1,429	24	59.5	1,541	27	57.1
トレーニングルーム	2,410	23	104.8	2,620	24	109.2	2,856	27	105.8
定期券	4,528	23	196.9	4,513	24	188.0	5,373	27	199.0
ヘルスパイパス	104	23	4.5	80	24	3.3	79	27	2.9
合 計	8,515	23	370.2	8,714	24	363.1	9,929	27	367.7
	平成28年度A 合 計			平成27年度B 合 計			対前年度比 (A-B)		
	人数	日数	1日平均	人数	日数	1日平均	人数	日数	1日平均
プール・トレーニングルーム	1,071	312	3.4	862	313	2.8	209		0.7
プール (15歳以上)	20,557	312	65.9	21,203	313	67.7	△ 646		△ 1.9
プール (15歳未満)	2,242	312	7.2	2,218	313	7.1	24		0.1
プ ー ル 計	22,799	312	73.1	23,421	313	74.8	△ 622		△ 1.8
トレーニングルーム	31,260	312	100.2	29,451	313	94.1	1,809		6.1
定期券	60,026	312	192.4	50,044	313	159.9	9,982		32.5
ヘルスパイパス	1,103	312	3.5	1,276	313	4.1	△ 173		△ 7.6
合 計	116,259	312	372.6	105,054	313	335.6	11,205		37.0

2. 教室利用

(単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
一般教室	教室数	71	71	71	73	74	71	71
	参加者	893	892	895	979	936	889	910
ヘルスピアパス購入者		10	11	10	9	10	11	10
定期券購入者(実数)		469	445	459	495	503	490	488

		11月	12月	1月	2月	3月	合計	平成27年度
一般教室	教室数	71	71	71	71	72	858	893
	参加者	884	854	893	898	877	10,800	10,769
ヘルスピアパス購入者		11	8	9	7	9	115	116
定期券購入者(実数)		475	453	446	465	488	5,676	5,479

3. 健康度測定室

(単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
自費診療		45	36	42	68	26	37	60
予防接種		0	0	1	2	5	3	28
健診事業	特定検診	8	32	22	38	8	22	28
	特定保健指導	2	0	2	1	0	2	3
	企業健診	60	38	40	22	16	15	43
その他		17	20	15	14	15	9	14
合計		132	126	122	145	70	88	176

		11月	12月	1月	2月	3月	合計	平成27年度
自費診療		58	38	55	26	68	559	606
予防接種		185	34	0	5	9	272	303
健診事業	特定検診	26	16	6	14	40	260	246
	特定保健指導	2	0	0	1	0	13	8
	企業健診	21	13	6	17	28	319	263
その他		14	10	13	11	26	178	212
合計		306	111	80	74	171	1,601	1,638